

美術博物館の催し

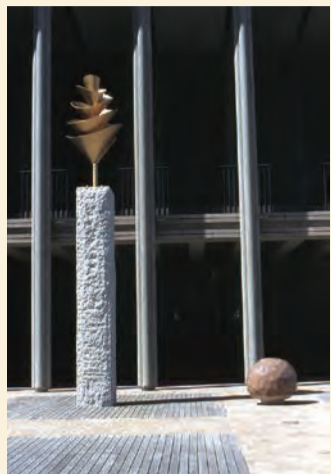


植松さんと一緒に

野外彫刻ピクニック+展覧会鑑賞

阪神間に設置される植松さんの野外彫刻を巡ったあと、展覧会を鑑賞します。彫刻作品や制作についてのお話も聞ける貴重な機会です。

■日時 4月25日(日)午後1時～5時
■会場 神戸市中央区、西宮市の野外彫刻ほか、芦屋市立美術博物館
■定員 30人
■講師 植松奎二氏
■料金 保険代100円(別途要観覧料、交通費)
■申し込み 4月11日までに氏名・住所・連絡先を電話またはEメールで美術博物館へ。応募多数抽選。



植松奎二《花のように—螺旋の気配》2006年

植松奎二 映像作品の上映会



植松奎二《Earth point project - Mirror》1972年

植松奎二氏が制作した1970年代から2010年代の映像作品14点を一挙公開・上映します。

■日時 4月10日・24日(土)午前10時～午後5時
■定員 50人

特別展 『植松奎二 みえないものへ、触れる方法—直観』



一貫して重力、引力といった見えない力の法則から世界の構造・存在・関係をよりあらわにしてきました。植松の作品と直観で対話し思考を深め、この世界を新たに認識する方法を探っていきます。

■期間 3月13日～5月9日午前10時～午後5時

対談「かつて現代美術があった

—みえない言葉ともの」

■日時 4月11日(日)午後2時～4時
■会場 講義室
■定員 50人
■講師 植松奎二氏・光田由里氏



【問い合わせ】美術博物館 ☎38-5432 / FAX38-5434 (〒659-0052 伊勢町12-25) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般700(560)円、大高生500(400)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額

谷崎潤一郎記念館の催し



北野恒富「雪の朝」

春の特別展「美の文豪、潤一郎～谷崎の美か、巨匠たちの美か～」

谷崎潤一郎のお気に入りの美術品たちは、彼の美意識・審美眼を見事に浮き上がらせています。谷崎ゆかりの数多くの名画・名品を贅沢に展示し、様々な角度から「美の文豪」の世界に迫ります。

■期間 3月13日～6月6日

単発・3回シリーズ講座「耽美主義者ワイルドの童話～原文で味わう大人の日曜日～」

谷崎潤一郎や三島由紀夫に影響を与えたオスカー・ワイルドの童話を、原文で味わう文学講座です。英語が苦手な人でも大丈夫です。原文を読みながら楽しく学びましょう。

■日時 4月18日(日)「幸福な王子」/5月16日(日)「わがままな大男」/6月6日(日)「ナイチンゲールとバラ」①午前10時～午後0時10分②午後2時～4時10分※①②は同じ内容

■会場 講義室
■定員 各回12人(要予約)
■講師 堀江珠喜氏(大阪府立大学名誉教授)
■料金 各回2,500円(別途3回分対応の教材1,500円)※1回のみ受講可
■持ち物 筆記用具・教材



堀江珠喜



谷崎三人目の妻光子

ロビーパネル展

「谷崎をめぐる女性たち」

女性の美をこよなく愛し描いた文豪谷崎潤一郎。80年におよぶその生涯を縁どった女性たちの、色とりどりのポートレートを集めてみました。

■期間 3月13日～6月6日
■会場 ロビーギャラリー

講座「学芸員が語る春の特別展」

谷崎ゆかりの名画・名品を、数多く贅沢に展示する春の特別展。見どころや作品のあれこれを、学芸員がわかりやすく解説します。



潤一郎訳源氏物語黒漆箱限定版

■日時 4月25日(日)午後2時～3時
■会場 講義室
■定員 20人(要予約)
■講師 井上勝博(当館学芸員)
■持ち物 筆記用具

【問い合わせ】谷崎潤一郎記念館 ☎23-5852 / FAX38-3244 / Eashiya-tanizakikan@shopro.co.jp (〒659-0052 伊勢町12-15) 【開館時間】午前10時～午後5時(入館は4時30分まで) 【休館日】月曜日(祝日の場合は、その翌日) 【観覧料】一般500(400)円、大高生300(240)円、中学生以下無料※()内は20人以上の団体料金※高齢者(65歳以上)および身体障害者手帳・精神障害者保健福祉手帳・療育手帳をお持ちの人とその介護の人は各当日料金の半額